

# 外国語科学習指導案

○○○○  
指導者 ○○ ○○

- 1 履修単位数 ○単位
- 2 実施日時 令和7年○月○日 (○) 第○時限
- 3 学 級 ○HR (○名)
- 4 使用教科書 ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION I (東京書籍)
- 5 単 元 名 Unit 6 What are the qualities of a good leader?
- 6 本単元で扱う領域における「CAN-DOリスト形式」による学習到達目標 (第1学年)

聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと
自分の考えをまとめるために、社会的な出来事について、人物の経歴とその業績を紹介する際の表現を的確に捉え、概要を捉えることができる。	解説文形式のテキストを読み、人物の経歴やリーダーシップの要素を読み取ることができる。	人物の経歴を紹介する場面で、知っていることや調べた内容を基に、聞き手を引きつけながら、互いに返答したり相づちを打ったりして、関連情報を簡潔に話して伝え合うことができる。	人物の経歴や業績についてプレゼンテーションを行う場面で、調べた内容を基に、聞き手に伝わるように情報を簡潔に伝えるとともに、その人物を選んだ理由をわかりやすく説明することができる。	尊敬する人物についての意見やリーダーに必要な資質とは何かを考え、根拠とともに書くことができる。

## 7 単元設定の理由

### ○教材観

本単元は、世界のさまざまな分野のリーダーの経歴を取り上げながら、「よいリーダーの資質とは何か」という問いについて考えさせる内容となっている。

世界的なリーダーの情報を他の生徒との話し合いを通して整理し、さらに理想的なリーダーは誰かを考えることで、話の概要や要点を捉える力を養うことができ、これからの社会で求められる資質や能力について、生徒に考えさせるきっかけになると考える。

### ○生徒観

本学級の生徒は、真面目で日頃から英語の授業に積極的に取り組んでおり、ペアワークなどの活動にも非常に前向きである。日々の言語活動の中で、日常的な話題についての英語を聞いたり読んだりして情報を整理する力が少しずつ身に付いてきた。しかし、社会的な話題について書かれた英文の概要や要点を捉え、理解する力は不十分である。本単元では、必要な情報を読み取って概要を捉える力と、時系列で相手に情報を話して伝える力を養うことを目指し、理想のリーダー像を体現する人物について、理由とともに相手に話して伝える力を養いたい。

### ○指導観

本単元は、生徒同士の対話やクラスでのショートプレゼンテーションが柱となるリスニング活動、オンライン百科事典の伝記やウェブの記事を読み解くリーディング活動からなる。「話すこと[発表]」に焦点を当てた指導と位置づけ、言語活動を通して概要や要点を捉える力、また聞いたり読んだりした内容に対する自身の考えを英語で話して伝える力を身に付けさせたい。

## 8 単元の目標

言語活動を通して、ある人物に関する情報を時系列で伝える力を身に付けるとともに、その人物についての自分の意見や、自分の理想とするリーダー像、自分がリーダーとなるために身に付けるべき資質とは何かを考え、全体に話して伝えることができる。

9 単元の評価規準（「話すこと[発表]」の評価規準）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>〈知識〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>分詞構文、関係副詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。</li> </ul> <p>〈技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ある人物の経歴について時系列で紹介しながら、関連する情報を簡潔にまとめ、伝えることができる。</li> </ul>	<p>聞き手に内容をよく理解してもらえるように、ある人物の経歴を時系列で紹介したり、その人物が備えているリーダーとしての資質について説明したりすることを通して、自分の考える理想のリーダー像に必要なと思う資質・能力とは何かを簡潔に話して伝えている。</p>	<p>聞き手に内容をよく理解してもらえるように、ある人物の経歴を時系列で紹介したり、その人物が備えているリーダーとしての資質について説明したりすることを通して、自分の考える理想のリーダー像に必要なと思う資質・能力とは何かを簡潔に話して伝えようとしている。</p>

1.0 指導と評価の計画（8時間）

時間	ねらい（■）、言語活動等（丸数字）	評価			備考
		知	思	態	
1	<p>■単元の目標を理解する。</p> <p>■世界で活躍するリーダーについて知る。</p> <p>①各人物について知っていることをペアで伝え合う。</p> <p>②Warm-up を聞き、各人物について分かった情報を確認する。</p> <p>③Listening 1 を聞いて、分かったことをペアで共有する。</p> <p>④尊敬する人物はいるかペアで伝え合う。</p>	活 か す こ と は 毎 時 間 行 う。	一 斉 に 記 録 に 残 す 評 価 は 行 わ な い。 た だ し、 ね ら い に 即 し て 生 徒 の 活 動 の 状 況 を 見 届 け て 指 導 に		
2	<p>■ネルソン・マンデラの経歴を読んで概要を捉え、彼が持っていたリーダーとしての資質とは何だったのかを考える。</p> <p>①教科書 Reading 1 掲載のネルソン・マンデラの経歴を読み、写真を参考にしながら、グループでそれぞれの場면을説明する。</p> <p>②内容を踏まえ、自分の考えをグループで話して伝える。</p>				
3 4	<p>■自分が理想とするリーダーに必要な資質とは何なのかを考え、意見を共有・発表する。</p> <p>①Reading 1 を参考に理想的なリーダー像について考える。</p> <p>②現代のリーダーに必要とされる資質とは何かについての考えをペアで話して伝え合う。</p>				
5	<p>■ネルソン・マンデラについて紹介するために、Listening 1 と Reading 1 で得た情報を基に時系列で伝える。</p> <p>①教科書 p.90-91 の写真を用いて、ペアでリテリングを行う。</p> <p>②①のリテリングの内容を振り返る。</p> <p>③自分の理想のリーダー像とネルソン・マンデラとの共通点・相違点を考え、ペアで話して伝える。</p>				
6	<p>■Listening 2 を聞き、スピーチの構成、表現、音声上の留意点、発表態度を確認し、スピーチを行う際の参考にする。</p> <p>①自分の尊敬する人物について、理由とともにペアで共有する。</p> <p>②スピーチを行う際の態度、時系列で物事を伝える際に使用する表現を確認し、それらを用いてペアで話して伝え合う。</p>				
7	<p>■理想のリーダーに対する自分の考えを明確にし、スピーチ原稿を作成する。</p> <p>①Reading 2 を参考にしながら理想的なリーダーとはどのような資質を持った人物なのかを考え、ペアや全体で意見を共有する。</p> <p>②尊敬する人物について、時系列で伝えるための文章構成を考える。</p> <p>③理想のリーダーについて発表するための原稿を作る。</p>				

8	<p>■理想のリーダー像をペアで論理性に注意して話して伝える。</p> <p>①各自が事前に撮影した発表動画をペアで共有し、音声や発表態度について助言し合う。また、発表内容に関して質問し合う。</p> <p>②助言を基に文章の改善や発表練習を行った後、理想のリーダーについてペアで話して伝える。</p> <p>※発表動画は授業内にタブレット端末上の MetaMoJi Classroom 内に提出してもらう。</p>		○	○	
後日	<p>パフォーマンステスト</p> <p>これからの時代に必要とされるリーダーが備えるべき資質と、自分が時代を引っ張るリーダーとなるためには、今後どのような資質を身に付け、能力を伸ばすべきなのか、これからの人生をどう生きていきたいかを理由とともに発表する。</p>	○	○	○	

## 1 1 本時の活動（第2時）

### (1) 目標

ネルソン・マンデラの経歴を読んで概要を捉え、彼が備えていたリーダーとしての資質とは何かを理由とともに相手に話して伝えることができる。

### (2) 展開

時間	学習活動	指導上の留意点	学習活動における具体的な評価規準	評価方法
導入 (5分)	1 挨拶をし、前時に学んだ内容に関する質問に答え、内容を復習する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体に挨拶をし、質問を投げかける。スクリーンに関連する写真を写すことで、内容を思い出しやすくする。</li> </ul>		
<b>To talk about the qualities Nelson Mandela had.</b>				
展開 (35分)	2 本時の目標を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>板書した本時の目標を全員が理解できるように伝える。</li> </ul>		
	3 Reading 1 を読み、グループで協力して内容を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中に配付するワークシート上の Reading hints を参考にしよう声かけをし、話の要点を確認させる。</li> </ul>		
	4 グループで Canva 上のワークシートに写真の説明として適切な文章を考え、Reading 1 の概要をまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各写真に対し、短い説明文を書くよう指示する。作成後、他のグループが書いたものと見比べ、お互いにフィードバックを送るよう指示する。</li> </ul>		
	5 他のグループの内容を確認し、自分の作った内容と比べて参考にできる点をコメントする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>隣のグループの内容について、コメントをするよう促す。</li> </ul>		

	<p>6 クラス全体で話の流れを確認する。</p> <p>7 ネルソン・マンデラが持っていたリーダーとしての資質とは何か、どうして彼は大統領になることができたのかを考え、クラス全体で共有する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• いくつかのグループに発表を促す。全体で Reading 1 の流れを確認し、内容に対する理解を深める。</li> <li>• Reading 1 の内容を基に考えさせ、意見を Canva に記入するよう促す。</li> </ul>		
まとめ (5分)	8 本時の目標と、達成度を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本時の目標を振り返り、ワークシートに記入させることで、目標の到達度を確認する。次回の活動を予告する。</li> </ul>		

(3) 評価及び指導の例（「話すこと [発表]」）

「十分満足できる」と判断される状況(a)	ネルソン・マンデラについて、与えられた情報に対する自分の考え、彼が持つリーダーとしての資質を理由とともに発表することができる。
「おおむね満足できる」状況(b)を実現するための具体的な指導	ネルソン・マンデラについて時系列で情報を整理させ、それを基に彼に備わっていた資質とは何かを考えるよう促し、生徒自身の言葉で話して伝えることができるように指導・助言する。
「努力を要する」状況(c)と判断した生徒への事後指導	伝記を読む際に読み取るべき項目を確認し、時系列で話の内容を整理し、それを基に順序立てて考えを述べる練習をさせ、「おおむね満足できる」状況(b)を達成できるようにする。